

平成28年度 不祥事ゼロプログラム 検証結果

平成28年度 県立伊志田高等学校 不祥事ゼロプログラム

伊志田高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

神奈川県不祥事防止対策要綱に基づき、本校の不祥事防止推進者は校長とし、校長が指名する不祥事防止推進補助者は副校長とする。よって、伊志田高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者を校長とし副校長、そして教頭がこれを補佐する。実施に当たっては、事故防止会議（企画会議）が中心になり全職員参加で実施する。

2 目標及び行動計画	3 検証結果
1) 体罰、不適切指導の根絶 目標；部活動や教科指導等での体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	7月の事故防止全体会議で、生徒活動グループの職員が講師となり、職場研修を実施した。所属教職員全員を対象に不祥事防止職員啓発資料を活用し、授業中や部活動指導上で注意すべき内容について身近な題材を取り上げ、生徒理解に基づく指導の徹底について共通理解を図った。
2) セクハラ、わいせつ行為の防止 目標；人権意識を高め、セクハラわいせつ行為の発生を未然に防止する。	年間を通じて、各種啓発資料を掲示し、教職員の意識啓発を行った。また、9月の事故防止全体会議では生徒活動グループの職員が講師となり、職員啓発資料及びセクハラ防止チェックリストを活用し、日常点検と事例の確認をして所属教職員全員を対象にした職場研修を実施した。
3) 公務外非行の防止 目標；公務外での非行を未然に防止する。	年間を通じて教職員の意識啓発を行うと共に、12月の事故防止全体会議で、所属教職員全員を対象に本年度の事故、不祥事を振り返った。不祥事防止啓発資料「公務外非行の防止」を用いて身近な事例から、自分にも当てはまる可能性があるという視点で職場研修を実施した。
4) 適正な経理処理 目標；公費、私費における適正な経理処理。	4月当初に私費会計担当者会議を開催し、私費会計基準に則った会計処理を確認した。また、10月の事故防止全体会議で、管理運営グループの職員が講師となり、年度末・年度当初に係る会計処理について、所属教職員全員を対象にした職場研修を実施した。
5) 個人情報管理・情報セキュリティ対策 目標；個人情報の流失及び携帯電話・電子メールの不適切使用を未然に防止する。	5月の不祥事防止研修会で所属教職員全員を対象にして「生徒の電話番号等の個人情報の取り扱い」について職場研修を実施した。生徒から個人情報を収集する場合の取扱い方法や許可・承諾を得る手順を共通理解した。また、個人情報流失等に係る教職員の事故防止意識を高めた。
6) 定期試験・成績処理に係る事故防止 目標；全ての試験や成績処理に係る事故を未然に防止する。	試験問題作成、保管等に係る注意や監督時の注意事項を朝の職員打合せ、職員会議等の場を利用して試験毎に徹底した。また、5月の事故防止全体会議で校内成績処理点検マニュアルを用いて通知表発行までの手順を確認し、11月（2回）には定期試験作問の誤りや答案誤廃棄などの事故防止の徹底を図った。
7) 入学者選抜に係る事故防止 目標；入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	公正な入学者選抜実施にむけ、入試選抜マニュアルを全職員で確認・修正すると共に、1月の事故防止全体会議で、所属教職員全員を対象にした面接の実施や事故事例についての職場研修を実施した。2月には新たな採点方法の理解を深め、事故防止の徹底を図った。

<p>8) 調査書に係る事故防止 目標；調査書発行時に係る事故を未然に防止する。</p>	<p>6月に「調査書」作成・発行時における事故防止に向けた研修会を実施し、所属教職員全員を対象に本校の調査書作成マニュアルを用いて誤りやすい項目及び過去の事例を確認しつつ、注意喚起を徹底した。</p>
<p>9) 交通事故防止、酒酔い酒気帯び運転防止 目標；交通事故、酒酔い酒気帯び運転を未然に防止する。</p>	<p>12月の事故防止全体会議で副校長が講師となり、「飲酒」「酒気帯び運転」「スピード違反」等の事例について取り上げ、研修会を実施し、年末における事故防止について注意喚起を行なった。</p>